

教職員研修事業

(予算総額: 74,776千円)

【平成29年度の教職員研修の成果】

- ・教育センターの研修実施回数、参加人数 ……68講座、26420名
(研修アンケート「研修内容はあなたの期待や要望に応えたものか」において、「強く思う」「そう思う」を答えた割合 94%)
- ・公開授業を伴う校内研修年間実施率(小学校9回以上、中学校6回以上) ……86%

【課題】

- ・子どもの学力向上を図るため、授業改善に継続して取り組む必要がある。
- ・初任者や経験の少ない教員の育成に向けて、学校内で組織的に取り組む必要がある。
- ・校園内研修の活性化に努めることで、「学び続ける教員」「ともに高め合う」教員の育成に取り組む必要がある。

【国の動向】(平成27年 中央教育審議会「教員養成部会」中間まとめ)

- ・今後、改めて高度専門職として認識されるために、学び続ける教員像の確立が強く求められる。
- ・校内において組織的・継続的に研修が実施されるよう実施体制の充実強化を図ることが必要である。

【研修方針】

- ・子ども一人ひとりの「生きる力」の育成に向け、**堺市教員育成指標に基づき**、各学校園の教育改善の推進と教育力向上を担う「情熱」「指導力」「人間力」を備えた教職員の育成のために、効果的かつ計画的に研修・研究を進める。

専門性の向上 OJT機能の強化



【重点取組】

- ・3年間の「初任者・発展研修」と専門指導員制度の実施、組織的な授業改革を図るための指導員の派遣等
⇒専門指導員等の報酬、旅費等
59,444千円

- ・探究的な学びの実現に向けた取組
⇒「堺市デベロップメントプログラム」の実施
3,000千円

- ・主体的な研究を支援する
⇒教育課題研究支援、コア・ティーチャー視察旅費
1,800千円

- ・指導的立場の教員を育成する連合教職大学院への教員派遣(2名)
⇒教職大学院派遣
1,708千円

研究強化

研究部門

教職員元気プロジェクト

- ・「授業改革」コア・ティーチャー認定制度
- ・教育課題研究支援
- ・がんばる学校園サポート

教職員教育研究講演会
教職員教育研究事業

研修強化

研修部門

新規採用者研修、初任者・発展研修
中堅教諭等資質向上研修
学校マネジメント研修、管理職研修

課題別研修(「堺市デベロップメントプログラム」含む)
健康・安全教育研修

授業等改善相談会「堺・教師プロ塾」
教育情報室(T-スクエア)

堺・教師ゆめ塾
堺・学校インターンシップ事業

事業強化

子どもの学力 学校力の向上



- 継続的・計画的関わりによる初任者・若手教員の育成
- 主体的な研究の支援による「学び続ける教職員」の育成
- 授業改善を図る組織的・継続的な校園内研修の推進
- 学力向上を推進する中核教員を中心とした取組
- 高度な専門性と豊かな人間性を備えた指導的立場の教員の育成

【成果と課題】

- 「授業改革」コア・ティーチャーによる公開授業の実施や研修講師としての指導により、優れた指導技術の継承を図る機会を設けることができた。今年度で現在のコア・ティーチャーの認定期間が終了するので、来年度は、新たなコア・ティーチャーを認定する必要がある。
- 支援を受けた教職員の研究報告書を、教育センター紀要に掲載し、全学校園に配布することにより研究成果の還元を図ることができた。
- 各学校園の課題に応じた研修を実施することにより学校力を向上することができた。

H30 教職員元気プロジェクト

「授業改革」コア・ティーチャー認定制度

- 対象者：優れた教科等指導を行っている中堅教員(8人)
- 支援内容：教育先進地域の調査研究にかかる旅費
研修講師としての旅費
- 役割：教科教育を牽引する中堅教員(コア・ティチャー)が公開授業者および研修講師となり、優れた教育実践の発信・普及に努める。

「教育課題研究支援」

・教科等指導研究コース

＜研究テーマ指定型中学校4校＞
(教科会充実2校、校内研修活性化2校)

- 対象者：優れた教科等指導を行っている教員
- 支援内容：教育先進地域の調査研究にかかる旅費

・今日的課題研究コース＜研究テーマ応募型5校＞

- 対象者：意欲的に研究する教職員
- 支援内容：調査研究にかかる旅費

「がんばる学校園サポート」

(研究推進校への支援)

H31 教職員元気プロジェクト

「授業改革」コア・ティーチャー認定制度

継続 400千円

- 対象者：優れた教科等指導を行っている中堅教員(7人)
- 支援内容：教育先進地域の調査研究にかかる旅費
研修講師としての旅費
- 役割：教科教育を牽引する中堅教員(コア・ティチャー)が優れた教育実践の発信・普及に努める。

「教育課題研究支援」(拡充) 1,400千円

・今日的課題研究コース

＜研究テーマ(教科等指導力向上)応募型4校＞

- 対象者：優れた教科等指導を行っている教職員
- 支援内容：教育先進地域の調査研究にかかる旅費

＜研究テーマ(学校力向上)応募型10校＞

- 対象者：学校園として組織的に研究する教職員
- 支援内容：調査研究にかかる旅費

「がんばる学校園サポート」 継続 539千円

(研究推進校への支援)

【期待できる効果】

- 経験少ない教員に対して、優れた指導力を有する教員をロールモデルとして示すとともにその優れた授業技術の伝達が図れる。
- 本市教職員の主体的な研究を支援することにより、「学び続ける教職員」の確立、「学校力」の向上を実現する。
- 学力向上やカリキュラム・マネジメントなど、新たな教育課題等に対して、調査研究に基づく効果的な研修や施策を行うことができる。

【現状と課題】

- H30 全国学力・学習状況調査において、中学校は全ての区分で全国平均を下回っている。
国語A 97.2 国語B 96.4 数学A 98.3 数学B 93.8 理科 95.3 (※全国平均を100とした場合の数値)
- H29大阪府チャレンジテスト(中学校1、2年生対象)においても改善はみられるが、府平均を下回っている教科が多い。
中学校1年 国語100 数学98.8 英語100.6 (※府平均を100とした場合の数値)
中学校2年 国語99.3 数学98.2 英語99 社会A98.8 社会B101.1 理科A98.7 理科B99
(※府平均を100とした場合の数値)
- 経験豊かなベテラン教員の退職とともに経験年数の少ない教員の増加。
21～32歳の教員数割合 40.9%

授業改善・
教科指導力の向上

○探究授業のイメージ化・モデル化

※堺市デベロップメントプログラムの実施

○教科専門性・教職員の協働

※組織的・継続的な校内外研修支援
※学び続ける教員の育成
※タブレット整備 (情報教育グループ)

○リーダーの育成

※コア・ティーチャーの育成

堺市デベロップメントプログラムによる
探究的な学びの実現に向けた支援

(新規) 3,000千円

全国の教育現場の現状を知り、めざすべき教育の方向性や教育スキルを持った優秀な研修講師複数名から半年間指導を受け、新たな教育モデルを受講者自身が体感する。

本プログラムを受講した教員が、子どもたちが思考する学習環境の作り方、学び合いを効果的に行うためのコミュニケーションスキルや運営方法を習得し、学校現場で実践を行うことで授業改善につなげる。

校内外研修支援の充実(新規)

校内外研修を活性化するため、指導主事が入り込み、小中一貫教科会議、若手研修、テーマ別研修会等を充実する。(7校)

「学び続ける教員育成」のための研究支援
(拡充)

※教職員元気プロジェクトの活用

コア・ティーチャーによる授業公開

中学校における授業改革を進めるため、5教科担当教員各一名ずつ認定し、優れた実践授業を公開し、その後、研究協議を実施する。(5教科×1回)

【期待できる効果】

- コア・ティーチャー公開授業等を通して確かな専門性に基づく指導ができる教員を育成するとともに、本市課題の解決に向けた新たな教科教育の創造が図れる。
- 継続的に、優秀な研修講師や、指導主事と関わることにより、今、求められる資質・能力の育成を図る授業観について、各教員の意識を変え、各学校園において探究的な学びや、高度な専門性に基づく指導が実現できる。